

土木職公務員の仕事を紹介

公共土木工事の発注者支援等を行っている県まちづくり技術センターは、県・市町支援の一環として、土木・まちづくりに携わる土木職公務員の仕事を紹介し、入庁促進を図る「まち×ひと×しごと発見ツアー」を3月25日に開催。県内外の大学生や高専生計15人がオンラインで参加した。

まちづくり技術センター オンラインで5人登壇

但馬地域の橋脚、道路補修など



力ややりがいなどを語った。県豊岡土木事務所職員は、城崎大橋の架け替え工

事などを担当。計画や設計、施工、維持管理までの流れや苦労について語った。また、別の職員は、様々な制約がある中で、地域の人や工事業者などと協力して事業を完成させることの達成感について話した。

豊岡市の職員は、地域をよく知ることが市民とのコミュニケーションや業務の円滑化につながる」と説明した。また、民間経験のある職員からは、

自身が携わった事業が地域の役に立っているのを感じられる場面が多くあり、仕事の励みに繋がると話した。朝来市職員からは、日常業務だけでなく、阪神淡路大震災や東日本大震災での応援派遣で取り組んだ復旧事業なども紹介した。

参加した学生からは、「ツアーに参加して、公務員になりたいという気持ちがさらに高まった」、「具体的な仕事内容や入庁後の流れなどを知ることができ、参考になった」などの意見があった。

兵庫ジャーナル1894号
4月11日掲載